

平成30年度 園評価

1、園職員自己評価からの評価内容

評価項目	評価内容
1、保育の計画性	良かった点
	<ul style="list-style-type: none"> ・園の理念・方針・目標については、職員研修や会議で取り上げているため、概ねの職員が理解している。 ・保育全体の計画は、園の理念・方針・目標に添った計画が立てられている。 ・以上児と未満児、クラスごとの会議を持ち、子どもの発達や状況に合わせた保育計画を立てることができている。 ・行事までの取り組みも、子どもたちの興味や関心が持続するよう、気分転換を十分に取り入れて、無理のない計画が立てられている。
	今後の課題
	<ul style="list-style-type: none"> ・職員全員が、0歳児から年長児までの発達と活動について、共通理解を深めたい。
2、保育の在り方 (3歳児未満への対応)	良かった点
	<ul style="list-style-type: none"> ・自由遊びの際は、どんな遊びがしたいのか、子どもたちの様子を見ながら興味や関心を引き出しながら、のびのびと活動することができた。 ・登園時の視診から、生活の切り替え時には、一人一人の健康状態を把握し、体調の変化を把握できた。 ・午睡チェックの安全性を高めるため、チェック時間の間隔を短くして行うようにした。 ・子どものありのままの姿を受け入れようと心がけた。
	今後の課題
	<ul style="list-style-type: none"> ・危険な行為を注意することや、遊ぶ際の約束事など、理解できる言葉が異なるため、なるべく月齢の低い子どもに合わせながら、反応を見て言葉かけをしていく。 ・複数担任で、確認のつもりで声をかけあっているが、保育士の声が飛び交っていることがあったので、伝え方を工夫する。
3、保育のあり方 幼児への対応	良かった点
	<ul style="list-style-type: none"> ・3歳以上児では、体幹を強くする動きやステップを中心にしたダンスレッスンで、体づくりとリズム感を育んだ。 ・夏祭りや発表会では、こども達のアイデアを生かした活動にすることができた。 ・登園時、降園時に子どもたちを笑顔で受け入れることができた。
	今後の課題
	<ul style="list-style-type: none"> ・発達障害、発達遅滞のある子どものぐずりや乱暴な行動について、全職員が共通理解し、適切な対応ができるように研修を計画する。
4、保育士としての 資質や能力・良識・ 適性	良かった点
	<ul style="list-style-type: none"> ・登降園時には、保護者に積極的に声をかけ、園での様子を伝えたり、家庭の様子を聞いて、子どもの状態を把握できるよう心がけている。 ・身だしなみに気を付け、動きやすい服装を心がけ、爪も短く切っている。 ・保護者には明るい態度で接するようにし、丁寧に話を聞き、必要に応じて主任や園長に相談することができた。
	今後の課題
	<ul style="list-style-type: none"> ・職員ひとりひとりが、能動的に、保育に関する情報や知識を得ようとする環境を整えたい。

5、保育者の専門性に関する研修・研究への意欲・態度	良かった点
	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の保育や課題設定に悩んだ時には、主任や園長に相談し、話し合っ、課題や目標を設定することができた。 ・園庭の遊具や教材について、その特徴を生かした活動を展開することができた。特に高さのある遊具には対しては、危険を予測して、安全な遊び方を伝えることができた。 ・アレルギーや自立の遅れについては外部研修に参加することができ、全職員が情報を共有することができた。
	今後の課題
	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもをとらえる際他児との比較するのではなく、年齢・月齢の発達の特徴と照らしてとらえることができるようにしたい。 ・研修の機会を増やし、日常的に意識を高める環境を作りたい。
6、保護者への対応守秘義務について	良かった点
	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者からの質問や指摘があった際には、落ち着いて話を聞き、担任同士で伝えあい確認をすること、園長や主任に相談するように心がけているところ。 ・特に保護者の方からの話については、特にゆったりと丁寧に話を聞くことを心がけた。 ・個別面談は、園での子どもの様子を伝えることを主な目的にしてきたが、家庭の養育方針を理解する場でもあり有意義だった。
	今後の課題
	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な価値観を持つ保護者の養育方針を理解した上で、園の保育方針とすりあわせた働きかけを行えるようにしたい。 ・保護者への対応に苦手意識を持たず、全職員が、全保護者との信頼関係を構築できるよう心がける。
7、地域の自然や社会とのかかわりについて	良かった点
	<ul style="list-style-type: none"> ・地域への散歩を取り入れ、地域の方に挨拶したり話をしたりと、交流ができて良かった。 ・実習生や中学生の職場見学、高校生の体験学習を受け入れ、担当者を中心に適切に対応できた。 ・園内外の散歩や畑の食育活動など、身近な自然に触れられる機会を設けようと心がけているところ。
	今後の課題
	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度は、年長児クラスができるので、学校訪問を実施したい。 ・広報活動を充実させ、日頃の保育の様子を伝えていきたい。